

KBX-P51

IP 無線機

取扱説明書 (基本編)

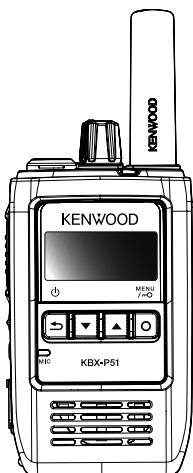
お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの「取扱説明書(基本編)」と「取扱説明書
(安全上のご注意)」をよくお読みのうえ、正しくお使いい
ださい。お読みになった後は、いつでも見られる場所
に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用する
ことはできません。

操作方法や製品の詳しい説明については、
「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください

本書は製品の基本的な取り扱いにつ
いてのみ説明しています。

オプション機器の取り扱い、各種機能の
設定や「故障かな?と思ったら」など、詳
しい使い方については、下記のURLま
たは右記のQRコードからアクセスでき
る「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください。

<https://manuals.jvckenwood.com/>



株式会社 JVCケンウッド

B5A-4953-00 (J)



ご使用前の準備

バッテリーパックについて

本機に使用できる充電式バッテリーパックは下記です。
・KNB-88L リチウムイオンバッテリーパック (2810 mAh)

バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電したり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態で保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。
- 長期間保管後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電 / 放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリー使用時間の目安

送信 5/ 受信 5/ 待受け 90 の比率にて連続運用した場合
・KNB-88L: 約 20 時間 (LTE で使用) / 約 30 時間 (Wi-Fi で使用)

バッテリー残量警告

バッテリーの容量が減ると、表示部の「」が点滅して知らせます。LED が赤色に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

使用済み充電電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion 20
充電式

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店、弊社営業担当窓口または代理
店へお持ちください。
リサイクルにご協力をお願いいたします。

バッテリーパック (別売品) の取り付け / 取り外し

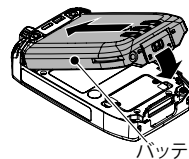
バッテリーパックの取り付け、取り外しの際、指を怪我しないように注意してください。



◆ バッテリーパックを取り付け / 取り外すときは、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。

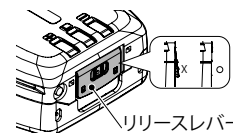
バッテリーパックの取り付け

1. バッテリーパック上側の凸部と本体裏側の
みぞを合わせ、バッテリーパックを押し込む



バッテリーパック

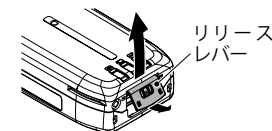
2. リリースレバーを本体にロックさせる
リリースレバーが横から見て浮かないよう
にしてください。



リリースレバー

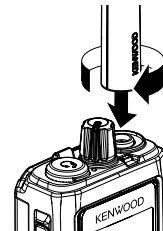
バッテリーパックの取り外し

1. バッテリーパックのリリースレバーを開きな
がら取り外す

リリース
レバー

アンテナの取り付け

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネク
タへ右 (時計方向) に固定されるまで回し
て確実に取り付けます。
アンテナの取り付けは、必ず本機の電源を
切ってから行ってください。



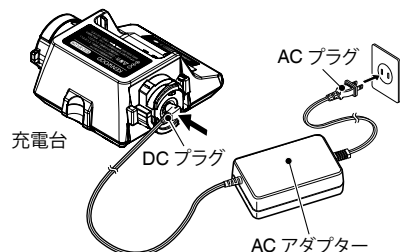
バッテリーパックの充電

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。
ここでは連結充電台 (KSC-87LCR) と AC アダプター (KSC-45LSL) を使用
して充電する方法を説明しています。
※市販の USB Type-C™ ケーブルを使用して充電することもできます。
詳しくは「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください。



◆ 無線機を使用しながら充電はできません。無線機を充電台に差し込
むときは、必ず電源を切ってください。

1. ACアダプターのDCプラグを充電台に差し込む
2. ACアダプターのACプラグをACコンセントに差し込む

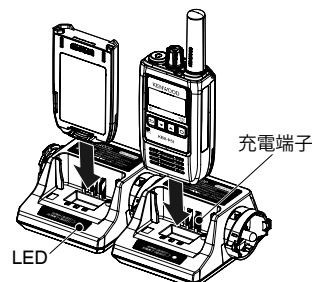


充電台

AC プラグ

AC アダプター

3. バッテリーパックまたはバッテリーパックを装着した状態の無線機を充電台
に差し込む



充電端子

LED

充電開始すると LED が赤色に点灯します。
充電時間の目安は下記のとおりです。

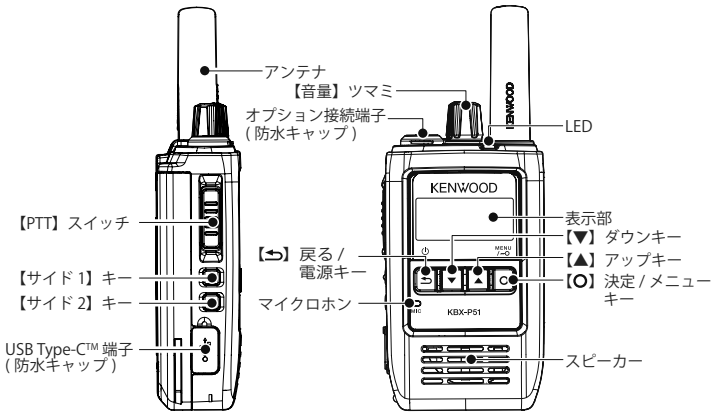
- ・KNB-88L: 約 180 分

4. 充電が完了するとLEDが緑色に点灯する
バッテリーパックまたは無線機を充電台から抜きます。

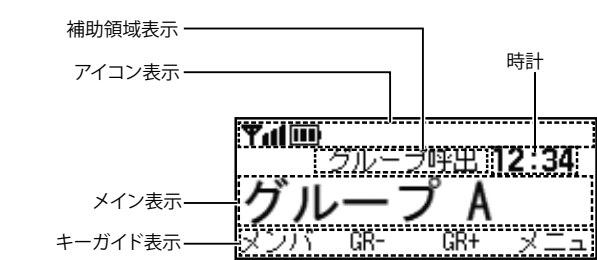
基本操作

各部の名称

■ 操作キー / ツマミ



■ 表示部



表示エリア	説明
アイコン表示	設定された機能の動作をアイコンで表示します。
時計	時刻を表示します。
メイン表示	グループ番号やユーザー名などを表示します。
補助領域表示	設定された機能の補助的内容を表示します。
キーガイド表示	【戻る】【▼】【▲】【O】キーを押すと起動する機能を表示部の下側に表示します。 ※表示されるキーガイドは無線機の状態で異なります。

基本操作一覧

操作説明の詳細については、「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください。

◆各操作キーの動作機能は出荷時の設定です。Buddycom管理コンソールを使用して、動作機能を変更できます。

操作	操作部位	説明
メンバーリストを表示	【戻る / 電源】キー	押すと、メンバーリストを表示します。
電源を入れる/切る		長く押すと、KENWOODロゴが表示された後に、「ピーッ」と鳴り電源が入ります。電源を切るときも、【戻る】を長く押します。
送信する	【PTT】スイッチ	押すと、送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。
グループを変更する	【▲】アップキー	グループ番号が上がります。押し続けると、グループ番号が連続して上がります。
	【▼】ダウンキー	グループ番号が下がります。押し続けると、グループ番号が連続して下がります。
音量を調節する	【音量】ツマミ	右（時計方向）に回すと音量が大きく、左（反時計方向）に回すと音量が小さくなります。
メニューモードに入る	【O】決定 / メニューキー	押すと、メニューモードに入り、カテゴリアイコンが表示されます。
キーロックをオン/オフする		長く押すごとに、キーロックをオン/オフします。

通話する

ここでは個別呼出（双方向通話）でメンバーリストの相手との通話手順を説明しています。その他の通話方法については、「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください。

1. 【戻る】を長く押して電源を入れる
「ピーッ」と鳴って電源が入ります。
2. 【戻る】を押す
メンバーリストが表示されます。
3. 【▲】/【▼】を押して通話したい相手を選ぶ
4. 【音量】を回す
右（時計方向）に回すと音量が大きく、左（反時計方向）に回すと音量が小さくなります。

5. 【PTT】を押す
送信状態になり、LED が赤色に点灯します。
6. 【PTT】を押し続けながら、マイクロホンに向かって話す



マイクロホンは口元から 3 cm 以上離してください。
・大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎたりすると、明瞭度が低下する場合があります。

7. 通話をつづける
【PTT】を押して送信してください。
相手の呼び出しを受けると、LED が緑色に点灯して着信トーンが鳴り、スピーカーから受信音が聞こえます。
【PTT】を離れた状態でしばらくすると通話状態を解除します。
8. 【戻る】を長く押して電源を切る
使用後は、電源を切ってください。

メニューモード

各種機能をメニュー形式で実行 / 設定するモードです。

メニューから機能を動作させる

1. 【O】を押す
メニューモードに入り、カテゴリアイコンが表示されます。



2. 【▲】/【▼】を押してカテゴリを選択する
3. 【O】を押す
機能リストが表示されます。
4. 【▲】/【▼】を押して機能を選択する



5. 【O】を押す
選択した機能が動作します。
6. 【戻る】を押す
前の画面表示に戻ります。

◆Buddycom管理コンソールを使用して、表示するメニュー項目を変更できます。

Buddycom管理コンソールについて

Buddycom管理コンソール（Web ツール）を使用して、本機の動作機能を変更できます。

- Buddycom管理コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
<https://console.buddycom.net>（パソコンのみ）
- ご使用には購入時に販売店よりお知らせされるログイン情報が必要になります。
- Buddycom管理コンソールについて詳しくは、「取扱説明書（詳細編）」をご参照ください。
- 「Buddycom（バディコム）」および Buddycom ロゴは、株式会社サイエンスアーツの登録商標です。